



令和7年4月9日
北九州市
九州旅客鉄道株式会社
高松産業株式会社
東宝住宅株式会社

報道機関各位

九州旅客鉄道(株)・高松産業(株)・東宝住宅(株)・北九州市 折尾駅南側にぎわいゾーンのまちづくりに関して連携協定を締結

折尾地区総合整備事業を進めている折尾駅周辺では、駅南側の民間開発が本格化する段階に入ったことを踏まえ、新たなコンセプト「オリオXcite(エキサイト)」を掲げ、魅力的なまちづくりを進めることにしました。

このたび、「オリオXcite(エキサイト)」第1弾として、駅前の大規模用地を所有する民間企業3社(九州旅客鉄道株式会社[JR九州]、高松産業株式会社、東宝住宅株式会社)と北九州市は、折尾駅南側の駅前にぎわいゾーンのまちづくりに関して相互に連携・協力する体制を構築するため、連携協定を締結しました。

1 連携協定の内容について

- (1) 良好なまちなみ景観の形成に関する相互協力
 - ・建築物の高さやデザインに統一感を持たせ、良好な景観を形成
- (2) 土地の高度利用に関する相互協力
 - ・容積率アップ等の手続きを協力して行い、土地の高度利用を促進
- (3) 広報活動に関する相互協力
 - ・各社のPRに合わせて折尾のポテンシャルも発信し、まちの魅力を広める
- (4) 地域のまちづくり活動に関する相互協力
 - ・地域のまちづくり活動に積極的に参加し、まちの価値を高める

2 折尾まちづくりのコンセプトについて

連携協定の締結に先立ち、北九州市長が折尾まちづくりのコンセプト(キャッチフレーズ)を発表しました。詳細は別紙資料をご参照ください。

「オリオXcite(エキサイト)」

若者と共に駆け上がる成長の舞台「折尾」 ～3つのXで発展するまち～

※詳しくは北九州市、九州旅客鉄道株式会社(JR九州)、高松産業株式会社、東宝住宅株式会社の説明資料をご参照ください。

【問合わせ先】北九州市都市整備局 折尾総合整備事務所 事業調整課
一瀬(課長)、田中(係長) 電話:093-602-3108

折尾まちづくりのコンセプト（キャッチフレーズ）

エキサイト
「オリオXcite」

【コンセプトロゴ】

若者と共に駆け上がる成長の舞台「折尾」
～3つのXで発展するまち～



※「3つのX」：Cross, Exchange, Transformation
(加えてXには「未知数」の意味も込めた)

【ストーリー】

- ・教育機関が充実する「折尾」は、市内の高校生・大学生の1／4が学ぶまち。北九州市内の他の地域と比べると、若者（特に学生）が多いことが最大の強み。
- ・折尾駅南側では、民間開発により魅力あふれる建物が計画されるなど、折尾のまちは新たなステージに入ろうとしている。
- ・これからも、次世代を担う未来志向の「若者」にスポットライトを当て、若者たちの情熱に満ちあふれた、挑戦や活動（自己実現）をみんなで応援し、胸が高鳴るような成長の舞台を創り上げ、まちと共に駆け上がっていく。
- ・その実現を目指して、折尾のまちが持つ「3つのX」を駆使し、住みやすく魅力的で、にぎわいのあるまちづくりを進めていく。

1 番目の X：鉄道幹線の交差（Cross= X）

- ・折尾は、鹿児島本線と福北ゆたか線・若松線が交差する本市の西の玄関口
- ・連続立体交差事業の完成により、周辺環境や駅の利便性が大きく向上
- ・交通結節点としての高い利便性を活かし、周辺エリア（福岡方面、筑豊方面）からも若者（学生）や就労世代を中心に、人の流れを取り込みながら、更なるにぎわい拠点へと成長

2 番目の X：若者（学生）と地域住民の交流（Exchange= X）

- ・折尾では、地域や学生主導のイベント等を通じて、多くの若者（学生）が、地域住民と交流しながら、次世代を担う人材へと成長
- ・在学中に、地域交流等を通じて「折尾」に対する地元愛を育むことで、卒業後も折尾への定住や就職を促進

3 番目の X：南側駅前開発による変革（Transformation= X）

- ・折尾駅南側の駅前における、若年層（単身者やファミリー世帯）向けマンションやスタートアップ向けオフィス等の開発により、若者にとっても、働きやすく暮らしやすい、新しいまちに生まれ変わる

※加えてXには次の意味も込めた

将来性や潜在能力（ポテンシャル）は未知数（未知数= X）

- ・若者（学生）だけでなく、「折尾のまち」にも、輝かしい未来に向けて、無限の可能性が広がっており、将来性や潜在能力（ポテンシャル）は未知数
- ・北九州学術研究都市の最寄り駅（バスアクセスの拠点）である折尾は、学研都市が半導体製造の一大拠点になれば、想像を超えるような劇的進化が期待される